



三学期、スタートして二週間

限られた日々を大切に

平成二十四年、新しい年が始まり、そして一月十日に広小学校の三学期がスタートし、早くも二週間あまりが経ちました。この間広小学校では、各学年とも教科指導や特別活動等順調に取り組めてきております。

この三学期は、年度末の学期、その学年最後の学期です。その学年のまとめの学期にしないといけない。このことは、子どもたちはもちろん、教師にも言えることです。子どもたちは、この一年の締めくくりに学習にしっかりと取り組んでいくことが大切です。そして指導する側の先生もしっかりとこの一年をふり返って、

広小学校の教育活動を点検することが、来年度の充実につながります。

こう考えるととても大切な三学期なのですが、日数にして五十二日しかありません。とても短い学期なのです。この限られた日々を大切にしたいものです。中でも六年生は、小学校最後の日々、貴重な時間ですので、特に大切にしていきたいでしょう。

主な行事予定

- 1月28・29日 有田地方科学作品展
- 1月29日 広川町駅伝大会
- 2月3日 授業参観 講演会
- 2月10日 耐久中学校体験入学
- 2月12日 町民つなひき大会
- 2月18・19日 有田地方工作展
- 2月19日 県ジュニア駅伝大会
- 3月14日 開校記念日(学校が休み)
- 3月19日 卒業式
- 3月23日 修了式
- 3月30日 送別式

1月17日に避難訓練を実施 休み時間の地震発生を想定して



阪神淡路大震災が起きた日である一月十七日に避難訓練を実施しました。今回は、二時間目と三時間目の間の休み時間に地震が発生したことを想定した訓練です。授業中なら先生がいて先生の指示のもとに避難するのですが、休み時間だと先生がいらない場合もありますから、そんな場合は子どもたち自身が判断して、避難できなくてははいけません。

運動場にいた子はすぐに運動場中央に集合



校舎内にいた子はゆれがおさまって運動場集合



休み時間に地震が起きたら

- 校舎内にいるときは、近くの机の下にもぐる。机がないときはできるだけ広いところで身を伏せる。
- 運動場にいるときは、校舎から離れ、運動場中央で身を伏せる。
- ゆれがおさまったら、運動場に避難し整列する。
- 自分が避難してきていることを先生に知ってもらう。
- 津波が予想されるときは全員で八幡神社に避難する。(今回は省略)

そのため、休み時間中に地震が起きたときのマニュアルは、事前に子どもたちに指導していたのですが、いざ訓練となると、うまくいくかどうか若干心配でした。でも、子どもたちはほぼ全員がマニュアル通りに避難行動をとることができました。運動場へ避難してから、十七年前の阪神淡路大震災のこと、さらに6434人が亡くなったことを話して訓練を終了しました。

いろんな方々に教えてもらっています

耐久大学のみなさん 学校ボランティアのみなさん



1年生の「昔の遊び」

三学期の学習がスタートしてこれまで、たくさんの方々に広小学校にお出でいただき、子どもたちにもいろいろなことを教えてもらっていますので紹介します。

一月十八日には、耐久大学のみなさんが、一年生に「昔の遊び」を教えてくださいました。あやとりやお手玉、



3年生の「昔のくらし」

コマまわし、ケンケンパーなどです。続いて、一月二十日に同じく耐久大学のみなさんが、三年生に「昔のくらし」を教えてくださいました。七輪で炭をおこしてモチを焼く、大豆を炒るという活動です。さらに、一月十八日、地域の方が学校ボランティアとして、五年生

授業参観・講演会出席よろしく

来る2月3日(金)、授業参観とあわせて講演会を行いますので、保護者の皆さまには、ぜひとも出席下さいませようお願いします。

講演会は、御坊市にお住まいの柳岡克子さんによる「生きている喜び」の講演です。重度の身体障害者である柳岡さんは、薬剤師であるとともに、御坊市身体障害者福祉協会会長をはじめ、多方面で活躍しておられます。障害者とは思えない行動力をもっていろいろなことに取り組んでおられる柳岡さんの「命の尊さ」のお話です。4～6年生も参加しお話を聞きますので、保護者のみなさまもぜひいっしょに勉強しましょう。

2月3日(金)

参観授業 1:15～2:00

講演会 2:15～3:50

柳岡克子さんの
「生きている喜び」

重度の障害を持ちながら多方面で活躍している柳岡さんが「命の尊さ」を熱く語ります

4・5・6年生も参加します

講演終了後

3:50～4:00 6年学年懇談会

4:00～4:20 耐久中入学説明会



柳岡克子(やなおかよしこ)さん
プロフィール

薬剤師/ケアマネジャー/御坊市身体障害者福祉協会会長/総合学習センター柳岡塾経営等々
障害者卓球の選手として活躍
学校や各種団体を対象に全国で講演活動を実施

の家庭科のミシンを使った実習で、子どもたちにミシンの使い方等教えてくれました。学校ボランティアのみなさんは一月十八日から二月十日まで全部で十回来てくれます。

たくさんの方々にお世話になっていくことに感謝しつつ、地域とともに子どもたちを育てる「共育」の素晴らしさを感じています。



5年生家庭科の学校ボランティア

